

平成31年度 学校関係者評価委員会 議事録

作成者（書記）：高橋理

日時 令和元年6月28日（金） 10:00～12:00

参加者 （評価委員）山本様（業界代表）、野本様（高等学校代表）、山田様（地域代表）
黒須様（保護者代表）
（学内関係者）青木、結城、阿部、藤崎、高橋
欠席者：毛塚様・加賀崎様（業界代表）、小柳様（卒業生代表） ※敬称略

目的 職業実践専門課程における自己点検・自己評価に基づき、委員より客観的な意見を伺うことで、実際の学校運営に活かす。
また、職業教育の水準の維持向上を図るために業界の方からの意見を伺い、教育課程に反映させていく。

議題 1、はじめに
2、学校長挨拶
3、委員紹介
4、主旨説明・現状報告
5、平成30年度学校評価関係者評価を受けた取り組みの報告。
自己点検・自己評価説明（特に課題となる点に絞って説明する。）
6、意見交換
7、事務連絡と今後のスケジュール

1. はじめに

2. 学校長挨拶

・建学の理念（実学教育・人間教育・国際教育）について

3. 委員紹介

4. 主旨説明・現状報告

・自己評価報告委員会開催の目的（主旨説明）

現状での報告。職業教育の重要性について。労働力不足や、高い職業スキルの取得、若年層の無業者増等の世の中の変化に対応する、高等職業教育機関への期待が高まっている。

→社会人の学び直し等

その背景を受けて、平成25年8月、職業実践専門課程というものが創設される。

この課程は企業と連携した実践的な学びをカリキュラムに導入し高度な職業人を育成する課程となっている。また、学校運営や教育課程等を、業界の方をはじめとする外部の委員の方から適正な評価をいただき、学校運営や教育課程の構築をはかっていくものである。

・事業計画書についての報告。

組織目的、組織編制、会議方法についての報告。

Q.学内の情報伝達や、会議方法に何かご意見ございますでしょうか？（阿部）

A.（山本様）開業して20年近くなるが、段階的にお店でも教育をしております。

教習所をと同じような段階を踏んだスタイルが大切だと思う。

ゆっくり一步一步進む中で、確実にになっていく。長い目でみるとそれが大事になる。

メリハリをつける。それが、情報伝達のキーワードになるのではないかな。

コンプライアンスが厳しくなっているなか、大変だが、人として大切な「愛情」が重要。

・教育活動について。

教育指導要領を見ながら説明する。シラバス・コマシラバス・レシピの説明。

授業アンケートを実施し、学生満足の上昇に努めている。

またコンテストにも積極的に参加をしている。ジャパンケーキショー、技能五輪、クープジケイなど。コンテストへの取り組みは動画で紹介。

Q.教育活動について、何かご意見ございますでしょうか？（阿部）

A.（野本様）細かく評価する項目があるので、良い。ただし、準備した項目は、「誰がやるのか？」が結構重要。

全員が目を通してやっていますか？他の授業も、内容を把握していないと、いけませんよ。

小さな目標をクリアさせていくと、学生は伸びます。流れのある教育指導をしていきましょう。

教育するにあたって、学生の質が大事。欠席・遅刻の学生が1人いると、レベルも下がる。悪い子たちの教育も大切です。

（山本様）クープジケイについて、優勝学生の動画を少し見たけど、基礎がしっかりしています。細かな指導の積み重ねが大切です。順番を整えたうえで教育しましょう。

5. 平成30年度学校評価関係者評価を受けた取り組みの報告。

自己点検・自己評価説明（特に課題となる点に絞って説明する。）

昨年度実績。製菓衛生師・中途退学率・就職者率・一年以内離職率。

学生サポートハンドブックの説明。慶生会クリニック。

Q.（黒須様）製菓衛生師授業のノートを見て、とてもうれしかった。

娘さんからの報告だが、辞めた卒業生の話も聞く。

現場実習の状況はいかがでしょうか？職場での理想と現実でのギャップが大きいのでは？

A.（高橋）実習、インターンシップは行っている。入社後のミスマッチが無いように、指導しているので、業務内容での離職は、限りなく少なくなってきました。

教育環境について。実習室、座学教室の説明。ICIF、フランスの海外研修説明。

学生募集と受け入れについて。入学選考の基準、適正な学生募集説明をしているか。

法令遵守について。財務に関しても中長期的に計画を立ててやっている。

経理・財務は、関連企業に任せている状況。

社会貢献・地域貢献は、埼玉福祉・保育があるので、沢山の連携依頼を頂く。

（山田様）地域貢献と、将来の職業像が結びつかない。学校は社会貢献しなければならないので、大変ですね。食の学校は福祉の学校と違ってどういう流れでやっているのでしょうか。

表面のキラキラは、実際に職場に出て、変わるのか。生涯の仕事にできるのか。

（山本様）我々の世代より、競争等の意識が少ないのは仕方ない。ただ、人に頼りすぎも良く

ない。

(野本様) 自分のこと自分でできるようにするのは、アメリカでは研究まで進んでいる。
自律的な教育も取り入れられると良いですね。

6. 意見交換 (各章参照)

7. 今後のスケジュール

評価表の評価が未記入の委員のみなさまに関しては、返信用封筒で7月12日(金)までに送付をよろしくお願ひします。今回の疑義の内容を受けて、より学生にとって有益な教育課程の構築と適正な学校運営に反映させていきたいと思っております。

最後に

(青木) 本日は、お忙しい中、本校のためにお時間を頂戴しありがとうございました。学生に提供する教育はやはり、実践的であることが大変重要であり、この道を商売としてやっていく意識も重要だと言うことが、委員のみなさまの意見で改めて感じる事ができた委員会となりました。いろいろと貴重なご意見を賜りましてありがとうございました。
必ず、学校運営に反省させてまいります。

以上